

## ★佐賀戦国研究会について

■発足は 2012 年。民間社会人による歴史サークル兼研究会。全国的に戦国ブームの昨今、佐賀の戦国武将（龍造寺隆信、鍋島直茂）がゲームの影響で全国的に人気になる中、肝心の佐賀では幕末明治の紹介ばかりで、戦国時代の PR は全くなされない。その為「無いなら自分たちで顕彰しよう」という趣旨で有志市民で活動開始。講師に学研の雑誌「歴史群像」へ寄稿中の歴史家、中西豪先生を迎え、第一回講演会を平成 25 年 3 月に開催。157 名もの地元歴史ファン及び、遠くは関東・中部から龍造寺鍋島ファンが佐賀城本丸に集まり、新聞にも大きく取り上げられる。

- 講演会開催履歴：
- |                                     |            |           |
|-------------------------------------|------------|-----------|
| 第一回 「世評における龍造寺氏・鍋島氏」                | H25. 3/23  | (157 名)   |
| ・ 番外篇 「1 から始める龍造寺史」                 | H25. 8/4   | (105 名)   |
| ・ 第二回 「沖田畷に見る戦国軍事史研究の現在」            | H25. 11/16 | (85 名)    |
| ・ 第三回 「救世主・鍋島直茂」                    | H26. 4/12  | (84 名)    |
| ・ 第四回 「救世主・鍋島直茂 (統一政権下のサバイバル)」      | H26. 8/24  | (92 名)    |
| ・ 第五回 「質疑応答会 ～龍造寺鍋島氏から日本の戦国時代」      | H26.12/27  | (33 名)    |
| ・ 第六回 「肥前千葉氏と戦国前夜」                  | H27.10/4   | (75 名)    |
| ・ 第七回 特別編「戊辰会津戦争の真実 一会津・薩摩・佐賀の関わり」  | H28.5/29   | (156 名)   |
| ・ 第八回 「関ヶ原の戦いを再検討するー龍造寺・黒田・加藤を中心にー」 | H29.8/20   | (140 名)   |
| ★ 第九回 「幕末維新を再検討する ー西郷、江藤、会津龍造寺 ー」   | H30.10/28  | 佐賀大学にて開催。 |

※ 大阪市主催、「大坂の陣 400 年天下一祭」に連動参加。豊臣政権と鍋島政権は密接に関わるため。

※ 歴史雑誌『忘却の日本史 西日本編 特別号』に「佐賀戦国研究会が選ぶ九州の武将ランキング 100」執筆。

※ 嬉野市の肥前夢街道忍者村からの委託により、嬉野市の忍者調査事業に参加。嬉野市史上に忍者を発見。

※ 代表 深川が『第二回国際忍者学会』基調講演を務める。

※ 代表 深川が『忘却の日本史』Vol.15 に「佐賀の忍者・山伏・天狗」を執筆。

■過去に後援頂いた自治体や企業：佐賀県立佐賀城本丸歴史館、小城市教育委員会、千葉市教育委員会、佐賀新聞、西日本新聞、サガテレビ、雑誌『歴史群像』、雑誌『忘却の日本史』、千葉氏顕彰会、大坂の陣 400 年天下一祭、十六世紀史研究学会、株式会社歴史と文化の研究所、勝永座談会、東海古城研究会

★佐賀市民活動プラザでの勉強会・座談会を定例会とし、ゲストを招き佐賀城本丸歴史館などで、講演会や座談企画を開催中。佐賀県の戦国史を主軸に日本の戦国史を勉強・紹介する趣旨。広告は若者に PR できるようにアニメ風のグラフィックチラシ。また、ミドルメディアとなる事を志向し、Itunes の Podcast、及び Youtube で講演会や勉強会の音源を配信中。(Itunes Store の Podcast で佐賀の戦国史で検索すると無料購読可能。)

★ (理念) グローバリズムの日本かつ人口減、地方経済衰微で、古い郷土史はインパクトが薄れる傾向。

行政による佐賀の戦国史の PR や顕彰不足を補いつつ、市民レベルで歴史に学び、自発的かつ自由に、カジュアルに活動する企画。



代表 深川 直也

〒840-0861 佐賀市嘉瀬町中原 76-53

TEL: 080-5242-4015

Mail: [sagasengoku@live.jp](mailto:sagasengoku@live.jp)